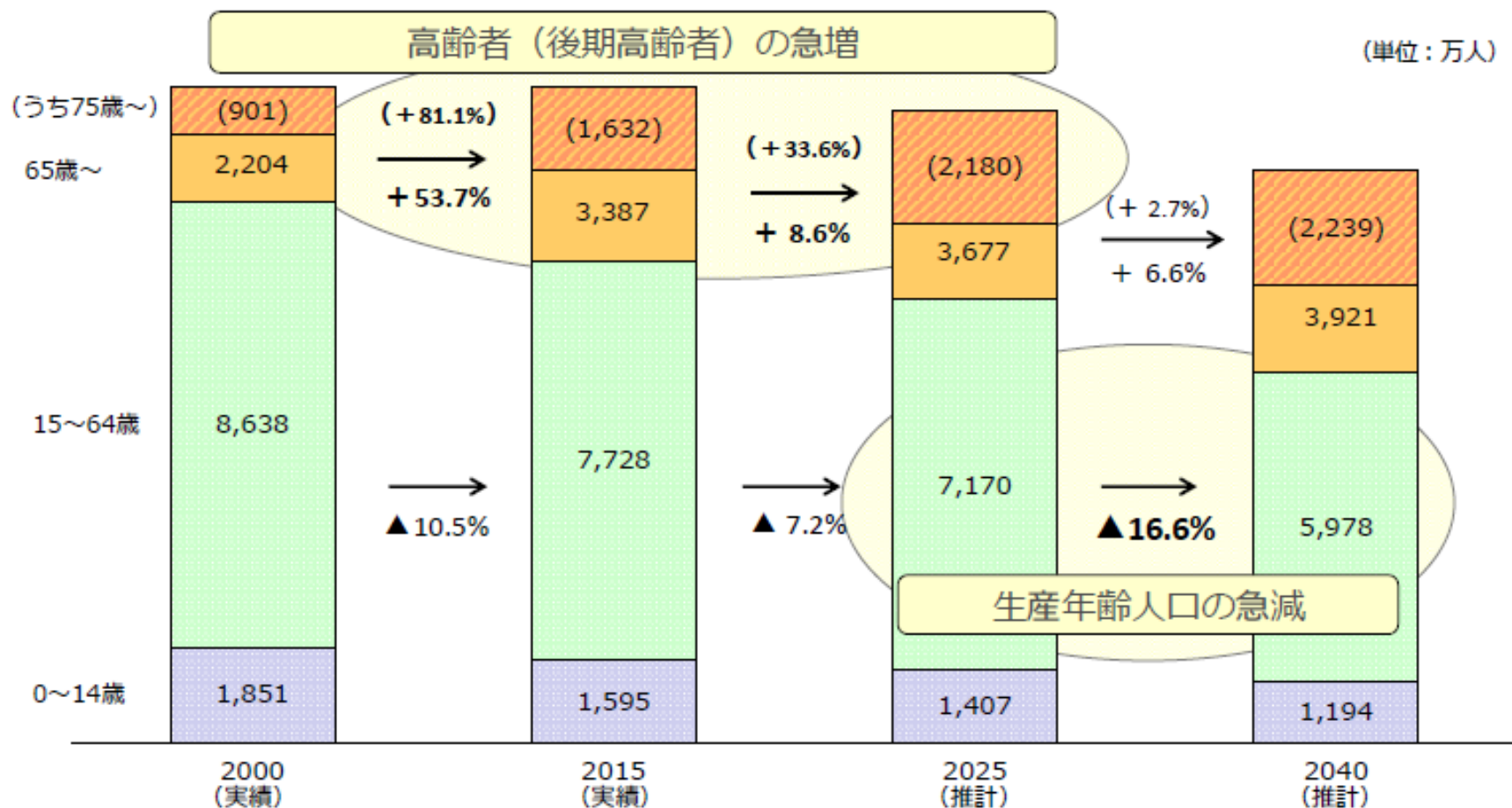


■ 論点（例）

- ・以下の観点で新たに取り組むべき対策としてどのようなものがあるか。
 - ①将来就きたい又は就く職業として看護職を選択する
学生数の増加
 - ②県内看護師等学校養成所の県内就業率の向上
 - ③看護職員の離職防止
 - ④訪問看護職員の確保
- ・特定行為研修修了者数の確保に向けて、どのような対策が有効であると考えてるか。

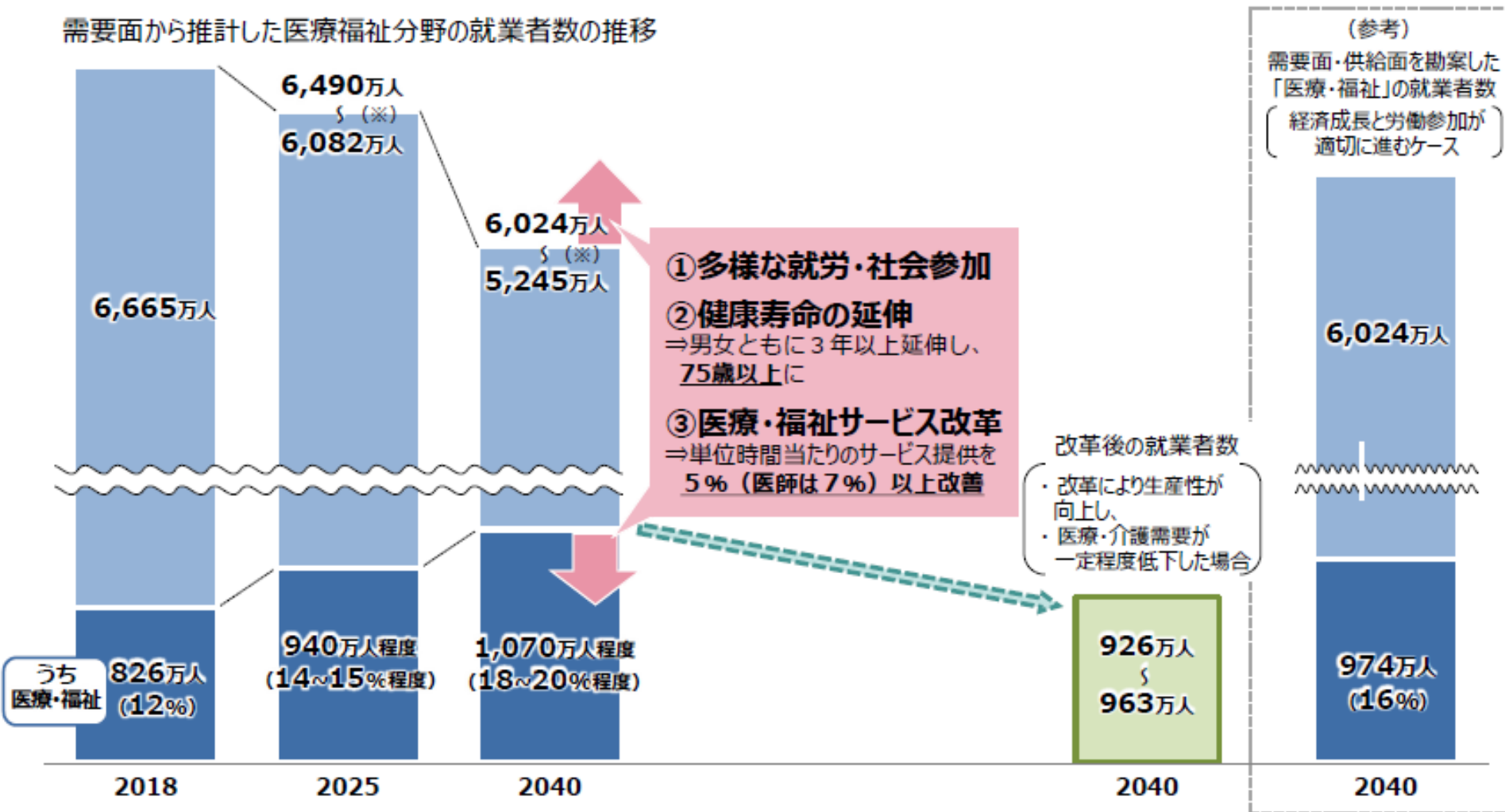
○ 2025年に向けて、高齢者、特に後期高齢者の人口が急速に増加した後、その増加は緩やかになる一方で、既に減少に転じている生産年齢人口は、2025年以降さらに減少が加速する。

【人口構造の変化】



○2040年には就業者数が大きく減少する中で、医療・福祉職種の人材は現在より多く必要となる。

需要面から推計した医療福祉分野の就業者数の推移



※総就業者数は独立行政法人労働政策研究・研修機構「労働力需給の推計」(2019年3月)による。
 総就業者数のうち、下の数値は経済成長と労働参加が進まないケース、上の数値は進むケースを記載。
 ※2018年度の医療・福祉の就業者数は推計値である。

【参考】三重県内の18歳人口は減少傾向にある

総人口に占める18歳人口の割合は横ばいであるが、男女とも18歳人口は減少傾向にある。将来就きたい又は就く職業として看護職を選択する学生数を引き続き確保していく必要がある。

